

地域おこし協力隊“奔走中”

空き家となった教員住宅を移住希望者のための賃貸物件として利活用するため、協力隊の永田さんらと共にDIYワークショップの講師として計8回のワークショップを行いました。お陰様で各回定員を上回る応募があり、県内外からたくさんの方々に参加していただくことができました。特に断熱ワークショップでは多くの反響があり、ワークショップから数日も経たないうちに「現在住んでいる住宅が寒くて、早速実践をしてみました！」という嬉しい連絡をいただくこともありました。DIYの作業中には、町内の方からりんごやおやつの差し入れもあり、自然と参加者同士の交流が生まれていた雰囲気もとても嬉しかったです。各回の詳しい様子は立科町のnoteを是非ご覧ください。

また、移住希望者の方が立科町に住むことができるよう、引き続き空き家バンクの登録件数もまだまだ増やしていきたいと考えています！空き家の処分や活用でお困りの方は、お気軽に町かどオフィスまでお越しください。



●移住促進担当
秋山 晃士です。



DX

Digital Transformation
デジタル・トランスフォーメーション
プロジェクトライフサイクル



こんにちは。デジタル化推進専門官の渡邊です。今回は「プロジェクトライフサイクル」について、お話したいと思います。

多くのプロジェクトには「立上げ」「計画・実行」「終結」の各段階が存在しています。専門用語では、こうした段階の移り変わりのことを「プロジェクトライフサイクル」と呼んでます。

現在進行中の立科町DX推進プロジェクトも令和4年の前半に始まり、様々な計画を立案してきました。比較的大きな規模のプロジェクトだったことや参加者が多いことから戸惑いや手探りの部分も多くあったと思いますが、

今後も継続されるDXの取り組みの初期段階の立上げとしては良いスタートを切ることができたと思います。デジタル技術は日進月歩のため、つねに最新技術を学びながら活用し続けなければなりません。

今年度も残りわずかとなり令和4年度の立科町DX推進プロジェクトも終結の段階に入ります。これまでの取り組みを振り返り、課題を整理して令和5年度のプロジェクト立上げに向けて準備を進める段階に移行します。今後のDX推進の取り組みを楽しみにしていただければと思います。

